

あけぼの賞表彰式

「京都府あけぼの賞」は、男女共同参画による豊かな地域社会の創造を目指して、女性の一層の能力発揮を図るため、各分野での功績の著しい女性やグループに京都府知事が授与するものです。

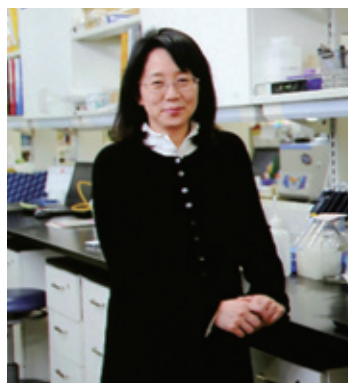
今年度は4名1グループの方々が受賞されました。

平成27年度受賞者



コシノ ジュンコさん (デザイナー)

「琳派400年記念祭」呼びかけ人として琳派の世界観、京友禅や西陣織の技術等の京都の伝統工芸の普及に貢献



高橋 政代さん (医学博士)

網膜再生医療技術の研究・開発に取り組み、昨年世界初となる自己iPS細胞由来網膜色素上皮細胞を加齢黄斑変性の患者へ移植する臨床手術を遂行



宮原 知子さん (フィギュアスケート選手)

世界フィギュアスケート選手権メダルなど、国内外の競技大会で優れた成績を収めフィギュアスケートの魅力を発信し、夢と感動を与えた。



村上 良子さん (染織家(紬織))

京都府指定無形文化財保持者
「植物染料」に魅せられ、自然をモチーフに紬織を情感豊かに表現し、紬織文化の普及に貢献



樹々の会 (女性林業研究グループ)

代表 一瀬 裕子さん

森林整備などの実践活動、京北地域のPR、林産物の生産振興で地域活性化に大きく貢献



京都府知事

山田 啓二

Yamada Keiji



京都すばる高等学校吹奏楽部の皆さんの明るくて元気のいい、いかにも若者らしい演奏とともに、「第27回 KYOのあけぼのフェスティバル2015」が幕を開けました。

今年も府内各地から多くの皆様に御参加いただき、厚くお礼申し上げます。

本日、「京都府あけぼの賞」を受賞される皆様、本当におめでとうございます。

この賞は、男女共同参画という言葉が生まれる前から、地域社会の創造に向けて、各分野の第一線で活躍され、すばらしい功績を挙げられ、まさにこれからの未来を切り開いて来られた女性を顕彰するものとして設けたものであり、受賞者の皆様のこれまでの御尽力、御功績に対して深く敬意を表するものです。

本年、27回を迎えましたが、いつも熱気に満ちたフェスティバルを運営いただいている田中田鶴子実行委員長をはじめ18団体の関係の皆様へ改めて厚くお礼申し上げます。

今年のフェスティバルは、「大交流時代! あらゆる世代の知恵と力で 京都創生」をテーマに、元バレーボール全日本代表の大村加奈子さんによる御講演や大学生の企画によるワールドカフェなど、様々な企画が催されます。

今年、京都縦貫自動車道が全線開通し、北部が元気になり、海の京都で大賑わいですが、そういった交流の中で京都の未来を作っていきたいと考えております。

やはり京都が都であり、多くの文化を発信し、そこには人が集まり、更にその人たちが新しい未来を作り出していく。その交流の中で、これからも日本に、世界に発信していける場所として京都を更にもう一度活性化させていきたい。その中心となるのが女性だと考えます。

京都府では本年3月に、京都の経済団体等と行政とが連携し、田中田鶴子実行委員長にも大変お世話になり、「輝く女性応援京都会議」を発足させたところです。

男性が輝いていないわけではありませんが、女性の方がこれからまだ輝く余地が大きくあると考えます。女性が輝けば、太陽と月のように男性も輝くことができます。京都は昔から女性が輝いていますが、さらに輝く女性を地域に溢れんばかりに作っていくことこそが大交流時代の京都創生の大きな原動力となるのではないのでしょうか。

また、この10月には女性活躍の支援も盛り込んだ「京都府地域創生戦略」を策定いたしました。京都市の心の創生、京都府の文化創生、これが両輪となって京都を元気にしていきたいと思っております。そのためにも、あけぼのフェスティバルに御参加の皆様のお力添えをいただきたいと思っております。

27回を迎えた本フェスティバルが、ここからもう一段階パワーアップしていく時代に入っていると考えます。実行委員会の18団体がより結束を固めて、もう一段階ステージを上げていく時代に入っています。そうした観点からもこの「KYOのあけぼのフェスティバル」が、大成功を収めることを心から祈念しますとともに、そのために御参加の皆様一人ひとりが、健康でさらにパワーアップして、京都の女性創生に取り組まれることを心から願い、私の挨拶といたします。



KYOのあけぼのフェスティバル
実行委員会委員長

田中 田鶴子

Tanaka Tazuko



今日は、御来賓の皆様方をはじめ、多くの方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。
そして、本日、栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様方、心からお祝い申し上げます。
各分野で先駆的に活躍され、第一線で輝いておられる方々ばかりでございます。今後ますますの御活躍を期待いたしております。

さて、今年度のフェスティバルのテーマは、「大交流時代! あらゆる世代の知恵と力で 京都創生」
でございます。あらゆる世代の人と人、また、文化・スポーツ、学術など、様々な分野における、新たな交流を促す機会となりますよう、実行委員の皆様と企画・検討を重ねてまいりました。

式典に続きましては、元バレーボール全日本代表選手の大村加奈子様から御講演をいただきます。大村様は、アテネと北京の2度のオリンピックで活躍され、バレーボールを通じて学ばれたスポーツの素晴らしさについて、お話しいただきます。

午後からは、女性の活躍やワーク・ライフ・バランス、ドメスティック・バイオレンスの防止など、男女共同参画社会実現のための重要なテーマについて、府内の大学生や地域で活動されている団体により、取組の成果発表や意見交換の場として「ワークショップ」が開催されます。

また、地元産品を活用した製品開発に取り組まれている府内の高校や地域の商工会、そして、起業を目指す女性によるバザールもございます。

どうぞ、お時間の許す限り御参加いただきまして、一人ひとりが、家庭や地域の活動に参画し、輝くことができる男女共同参画社会の実現に向けて、皆様の新しい一歩を踏み出していただく契機となれば大変嬉しく存じます。

最後になりましたが、今年度も、多くの企業・団体の方々に御協賛をいただき、KYOのあけぼのフェスティバルがこのように盛大に開催できましたことに、心より御礼申し上げまして、ごあいさつさせていただきます。



京都府議会議長

植田 喜裕 様

Ueda Yoshihiro

(京都府議会副議長 巽 昭様代読)



「第27回KYOのあけぼのフェスティバル2015」が、多くの関係の皆様のご参加のもと、御盛会のうちに開催されますことを、心からお慶び申し上げますとともに、京都府議会を代表いたしまして、謹んでお祝いの言葉を申し上げます。

はじめに、本日、栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様、誠にありがとうございます。皆様は、それぞれの分野において、大変素晴らしい御活躍をされ、顕著な功績をあげられた方々であり、これまでの御努力に対しまして、深甚なる敬意を表する次第であります。

また、今年で27回目を数えます本フェスティバルが、このように、府内各地、様々な分野からの参画を得て開催されますのも、田中実行委員長をはじめとする、関係の皆様方の御尽力の賜物であり、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、今日、女性の社会参画は、様々な分野において着実に前進しておりますが、就業や起業、仕事と生活の調和など、女性が様々な分野で安心して、生き生きと活躍することのできる環境を整備していく上では、まだまだ解決すべき課題もたくさんございます。

一方、本格的な人口減少社会を迎える中、女性が安心して子どもを産み、育てながら、その能力を最大限に発揮し、社会の様々な領域で活躍できる社会を築いていくことは、今後、我が国が着実に成長・発展していく上で、必要不可欠であると存じております。

本日、御参加の皆様は、それぞれの分野で自らの力を遺憾なく発揮され、地域において、素晴らしい御活躍をされている方々であります。

どうか、皆様には、今後とも、その大きな力を存分に発揮いただき、地域はもとより、京都府、そして日本を元気にするために御奮闘いただきますとともに、女性の社会進出を一層促進する原動力として、ますます御活躍されますことを心から御期待申し上げます。

京都府議会といたしましても、昨年12月定例会において、「女性が輝く社会」の実現に関する意見書を全会一致で可決し、女性が幅広い分野で活躍できる、働きやすい環境整備を図るとともに、家庭生活と仕事の両立ができるよう、必要な支援を行うことなどを、国に対し強く要望をしたところでありますが、今後とも、府民の皆様お一人おひとりが、その能力を十分に発揮し、性別や年齢を問わず、誰もが幸せを実感できる心豊かな地域社会の実現に向けて、引き続き、全力を挙げて取り組んでまいります。

結びに当たり、本フェスティバルの御成功と、御臨席の皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げます、私のお祝いの言葉といたします。